

「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の 視点で自身の授業改善に向けた取り組みについて

まんのう町立満濃中学校 一力 大頭

1 郡市教科研究目標

健康の保持増進と豊かなスポーツライフを実現する保健体育学習の創造
～男女共習の保健体育学習の可能性について～

2 育てたい資質・能力

【知識・技能】

- ・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができる。
- ・運動を豊かに実践するための知識や技能を身に付けることができる。
- ・学習課題に対して努力することができる。

【思考力・判断力・表現力等】

- ・他者を応援したり、励ましたりすることができる。
- ・他者に対して、学習した視点や専門用語を用いてアドバイスができる。

【学びに向かう力・人間力等】

- ・運動における競争や協同のなか、活動することができる。

3 保健体育学習でつけたい力

	1 主体的な学び	2 対話的な学び	3 深い学び
つけたい力	これまでに学習した内容を思い出したり、本時に学習する内容に興味を持ったりしながら、授業に臨むことができる。	活動したり、話し合ったりするなかで、自分の考えをしっかりと持ち、他者の意見や既習事項を活かそうとすることができる。	発表する時には相手に伝わりやすいように工夫をし、聞く時には人の意見をきちんと集中して聞くことができる。

4 自身の今年度の取り組みについて

生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するためには、保健体育学習において、重要なことは、運動・スポーツの魅力や楽しさを実感することであると考えられる。各運動・スポーツが有する魅力や楽しさを味わうことがなければ、運動・スポーツに対してネガティブな関わりをもち続けることになる。運動が苦手な子どもでも運動・スポーツが有する特性に触れ、その楽しさを実感することは重要である。そこで、保健体育学習の授業を進めていくにあたって、ただ、知識や技能の習得を目指したり、生徒任せの考えさせる授業をしたりするのではなく、「教えて考える授業」をしていきたい。また、運動が苦手な生徒に視点をあて、そういった生徒でも活躍できる場を提供できるような授業づくりをしていきたい。